

ふるさと

第四十六号
特別養護老人ホーム
アミーキ



敬老会



敬老会実行委員長 中藤 裕介

九月二十一日にアミーキ敬老会を開催しました。今年度は米寿一名、卒寿四名、特別慶祝一名の計七名の方が慶祝を迎えられました。今回は新型コロナウイルス感染症予防の為に、質問の参加は中止となり、慶祝者の皆様と実行委員会の職員でお祝いしました。

皆さんお化粧が始まると少し恥ずかしそうな様子で職員へ「お化粧が薄い方が良い」「もう少しこの辺りを濃くして欲しい」などの要望を伝えていました。お化粧を整え、チャンチャンコを羽織り、準備ができた方より写真撮影を行いました。皆さん少し緊張された様子でしたが、表情良く笑顔が多くみられました。今年度は例年に比べ少し寂しい会となりましたが、その分皆さんにより寄り添って行えた敬老会になりました。今後も皆様が健康で元気に過ごしていただける様、職員一同ケアの向上に努めて参ります。



慶祝者

特別慶祝

星野 つや 様

百一歳

卒寿

福田 しげ子 様

篠原 サワ子 様

須賀 みや子 様

金子 マス子 様

米寿

横田 さと子 様

森田 きん 様



デイサービス敬老会

デイサービスでは、九月十七日に敬老会を開催しました。今年度は喜寿・米寿・卒寿を迎えた利用者様の長寿と健康をお祝いし、施設長より祝辞と賞状を授与させていただきました。職員・他の利用者様が見守る中、賞状を受け取る慶祝者様の凛々しい表情がとても印象的でした。職員による催し物として今年はハンドベルを演奏しました。ベルが響く音色は優こへ、皆さんの聞き惚れている様子でした。

最後に、ハンドベルの演奏に合わせて利用者様と一緒に「ふるさと」の手話を行いました。職員の手動きを目で追いつ一生懸命手話をされる方、腕を大きく動かして心を込めて行う方、沢山の優しい表情が見られ、腕の動きが揃った会場は一体感と温かい空気に包まれました。慶祝者様から「素敵な会を開いていただき、ありがとうございます。良い思い出ができました。」との感謝の言葉に、他利用者様・職員一同、心温まるひと時を過ごし事ができましたと実感しました。

皆様のご長寿をお慶び申し上げますと共に、益々のご健康を心よりお祈り申し上げます。





1A 「鯛焼き作り」



今回、1Aユニットでは利用者様から「鯛焼きが食べたい」との声が多く聞かれ、八月二十四日におやつ企画で鯛焼き作りを行いました。鯛焼きの歴史は今川焼から派生した食べ物であると言われて、発祥については、明治時代に鑄物の型を使って作られたとされる説があります。

利用者様には型に生地を流し込み、生地の上から餡子を入れてそれぞれ自分好みの鯛焼きを作りました。皆さん手際良く、餡子が好物の利用者様は餡子を沢山入れると喜ばれていました。焼き上がりを見せるのが「食べていいのよ」「上出来ー」「美味しそうー」などの声が聞かれ、皆様綺麗に全量仕上げ上がっていました。

普段では体験できないことができ、良い刺激になったと感じています。



1B 「昔懐かしい冷やし汁そうめん作り」

今年も猛暑が続く八月。この暑さを吹き飛ばす為に、今回1Bユニットでは冷やし汁そうめん作りを企画しました。冷やし汁には、味噌、きゅうり、すりごま、みょうが、調味料を加え、麺を食べることが難しい利用者様にも味見をしていただきました。家庭によって味は色々ですが、懐かしい味に昔の思い出を話される利用者様もあり、これからも利用者様の思い出や嗜好に合った家庭料理と一緒に考え提供したいと思っています。





C棟合同「かき氷作り」



九月七日に1Cユニット・2Cユニット合同でかき氷作りを行いました。イチゴなどの定番商品のほかに、抹茶やみぞれ、あんなどを用意し、利用者様には好きな味をかけて召し上がっていただきました。当日は風が強くなり、当初予定していた南庭に出て外でかき氷を楽しんでいたかき氷はできませんでした。利用者様からは「今年はかき氷を食べられないかと思うたから食べられてよかったよ」や「氷がいい氷だからとてもおいしかったよ」とお話をいただきました。また、普段なかなか食事が進まない方も積極的に手を伸ばして、皆様夏の涼を楽しんでいただけました。今回は普段合同企画が無い中で、二つのユニットの利用者様の交流を目的に開催しました。今後も合同で企画を開催し、利用者様同士の交流を深められたらと思います。





2A「たこ焼き作り」



2Aユニットでは九月八日に利用者様と一緒にたこ焼き作りを行いました。具材のネギ、紅生姜、たこを細かく刻み食べやすいようにしました。生地を混ぜて型に流し込むと利用者様から「結構ゆるいね」「うまくできるかな?」等声が聞かれました。利用者様には生地がある程度形になったところで串を使用して「コロコロと転がして焼き目をつけていただきました。」「だんだん焼けてきたね」「美味しそうなお香りがするね」と笑顔で話されていました。また、段々と丸い形になっていくところをジッと見学されている方もいて完成が楽しみな様子でした。出来立てのたこ焼きにソースと青ののをかけて召し上がっていただき「たこの味がしっかりとって美味しいよ」「うまいね」と感想が聞かれ、あっという間に完食されていました。たこ焼き作りを通じて利用者様同士の交流を楽しんでいたことができたと思います。



非常食



保管場所見学



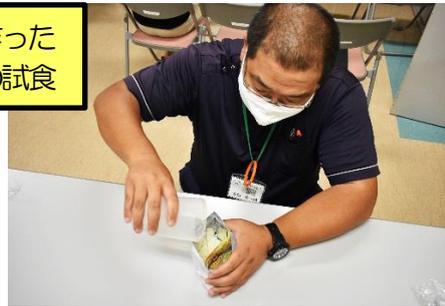
意外に美味しかったよ!



非常食についてレクチャー



水で作ったお粥の試食



栄養科より

「非常食について」



自然災害が多発している昨今、不測の事態に備えて一日分の「非常食」を備蓄しています。(飲料水は二日分) 防災自衛の九月、賞味期限切れ間近の「みぞ汁」「つくねと野菜のスープ」「とりえぼろ」などの非常食を、利用者様と職員に試食してもらいました。買い替えの際には、メニューや数量を適宜見直し、最適化しています。また、安全管理委員会が行った防災対策についての勉強会では、参加者全員で保管場所を確認し、実際に水で作った粥を味わってみました。これからも、万が一の際に慌てずに対応できるように、意識を高めて参ります。

2Bユニット (ショートステイ) 活動報告

日々の生活に楽しみとなる時間を持っていただけでもよい。ユニットではレクリエーションの時間を充実させています。特に好評をいただいているのが制作活動で、利用者様同士はもちろん、職員も和気あいあいとした雰囲気に参加しています。その他にも利用者様が自由に選択する事ができる塗り絵やパズルを常備しています。



普段は利用者様に馴染みのある、昔ながらの行事や企画を行っていますが、今回は職員から利用者の皆様へ新しい刺激をテーマとして焼チョコバナナ作りをご提案いたしました。作っている最中は半信半疑といった様子でしたが、一口食べると表情が一変し「美味しい」「もう一度作り方教えて」と大絶賛をいただくことができました。



利用者の皆様より「お祭りがないのは寂しいね」との声があり、2Bユニットで秋祭りを開催いたしました。昔ながらの射的やかき氷の他、利用者様それぞれに楽器を持っていただいたき職員の笛演奏に合わせたりノリノリのセッション。準備段階では試行錯誤、紆余曲折ありましたが、今年一番の笑顔に出会えた最高の一日となりました。



夏の恒例行事となつてまいりました2Bユニットの花火大会。今年も無事に開催することができました。今回も紳士、淑女である利用者の皆様も童心に返った表情をみせてくださったの楽しいひと時となりました。花火の締めくくは優くも美しい線香花火。線香花火を見つめる利用者様の表情は、何処か寂しげでも優しい表情でした。



音楽療法紹介



今年度の音楽療養は、新型コロナウイルスの影響もあり、感染予防の観点から、皆で歌う合唱を中止し、ピアノの生演奏のみ行っております。

十月より先ずは「ニットのひ感染対策を行った上で、小さな声での歌唱を再開しました。まだまだ今までの様に、大きな声で思いきり歌うことは難しい環境ではありますが、状況に合わせて徐々に緩和をしていければと思います。

音楽療法士紹介

九月より音楽療法士さんが一名増えました。改めて担当のお二人のご紹介を致します

小林 祐貴 (写真右)

一言……コロナ禍での音楽療養は、従来通りとはいかず難しいところもありますが、少しでも皆さんに喜んで頂ける様、想いを込めて演奏します。よろしくお願ひします。

海老原 菜月 (写真左)

一言……九月に入職致しました。茨城県の出身です。これからよろしくお願ひします。



花火見学



十月三日に赤堀小菊の里で赤堀地区青少年育成推進委員会による、新型コロナウイルス感染症の収束を願った花火の打ち上げがありました。

今回、花火の打ち上げ場所はアミキ真横だったため、利用者様達は特等席で七十五発の打ち上げ花火を楽しむことができました。

目の前で上がる花火は迫力満点で「こんなに近くで花火を見たことはないよ」「見上げるように花火を見たのは初めてだね」「綺麗だね！今年は何もなかったから花火が見られて良かったよ！」と、皆様とても喜ばれながら花火見学をされ、中には感激のあまり涙を流される方もいらっしゃいました。

思いがけない大輪のプレゼントにより、心が温まるひと時でした。



寄贈の御礼

■ 細野 ミチ子 様 (利用者様) より

刺繍作品をいただきました。ありがとうございました。



■ 阿佐見 秀子 様 より

マスク百枚をいただきました。ありがとうございました。



■ 株アペックス様 より

枕 百三十個
枕カバー 百三十枚
ベッドパット 六十枚
をいただきました。ありがとうございました。



新入職員紹介



- ① 名前
- ② 所属
- ③ 趣味
- ④ 自己PR

- ① 新井 初美
- ② 2Cユニット
- ③ ガーデニング
- ④ 英語 韓国語会話



利用者様が安心して快適に過ごして頂けるように、温かい気配りが出来るように日々精進していきます。どうぞよろしくお願ひします。



- ① 杉原 沙耶
- ② 看護課
- ③ 漫画を読む
- ④ 明るく、元気に楽しく利用者様達と関われば良いなと思います。まだまだ未熟者ですが、色々覚えていけるよう頑張ります。



よろしくお願いします。



新型コロナウイルス感染症への対応方針について

先日お配りしました当施設での「新型コロナウイルス感染症対応方針」の一部を掲載いたします。状況により対応方針が変更となる場合がありますが、ご了承ください。



感染予防のための対応

- ① 特養入居者
 - ・検温、健康チェック、手洗い(手指の消毒)を行う。
 - ・定期的に換気を行う。
- ② デイサービス・ショートステイ利用者
 - ・施設利用前に検温し、施設到着時に手洗い(手指の消毒)、うがい、検温を実施する。また、施設利用中はマスク着用とする。
 - ・利用者様同士の距離を十分にとり、アクリル板を使用するなど、飛沫防止のための措置をとる。また、定期的に換気する。
 - ・感染リスクが高いレクリエーション等は実施しない。
 - ・新型コロナウイルス感染が疑われる症状(37.5℃以上の発熱・呼吸器症状・倦怠感・味覚嗅覚異常など)がある場合は、利用中止とする。
 - ・同居家族で症状がある場合は利用を控えていただく。
 - ・同居家族や2週間以内に接触があった方が感染した(濃厚接触者となった)場合は、利用を控えていただく。



※ご不明な点がありましたらお声掛けください。